



秋川渓谷瀬音の湯

野村 正夫
議員

合併では市民の負担は低くサービスは高い説明であったが
施策の方向性に間違いはないと考える

問 合併後を総括して
合併12年の道程で当市の
財政は相変わらず厳しく、市
民サービスも低迷し、市民
が活気を失っている。この
ことから、以下質問する。

- ① 合併前の説明会では、
合併後は市民の負担は低く
なり、受けるサービスは高
くなる約束だったが、結果
は逆になっていると思うが？
- ② 合併特例の借金の運用

は箱物が多く、次世代に禍
根を残すと思うがどう考え
るか。

市長

① 合併協定書の中で住民
負担が取り決められ、そし
て平成9年には行政改革大
綱を策定し、住民福祉の増
進を図っていくために行政
改革に取り組んできた。こ
れまで議会及び市民の皆様
のご理解とご協力を得て、
改革を推進してきたもので
あり、施策の方向性に間違
いはなかったと考えてい
る。

② 西多摩地域の中でも飛
躍的に社会経済の基盤整備
が進んだ状況にあり、旧地
域総合整備事業債の計画的
な運用と国や東京都への積
極的な要請による支援の実
績がなければ、到底成し得
なかったものであると確信
している。

エコ対策に支援は出来ないか 市環境委員会で支援的措置を考える

和 敏
議 員
澤 井



エコハウス

問 安心・安全まちづくり
について
① 消防水利の確保につ
いて、災害時等には、水道管
の亀裂で消火栓の使用が出
来なくなることも予想され
ることから、計画的に防火
水槽を配置すべきと考える
が？
また、秋川駅・武蔵増戸
駅前広場の築造時に広場内

への防火水槽を設置する考
えは無かったのか？

② 地球温暖化対策と同時
に地域商業の活性化が想定
されるが、市民が行うエコ
(新エネルギー) 対策に支
援は出来ないか？

③ 東秋留駅周辺整備対策
については、市民が署名活
動まで行い整備の推進を要
請したが、危険な踏み切り
解消対策はどこまで進んで
いるのか？

副市長

駅前場内への防火水槽の
設置は、視野に入れていな
かった。

市長

② 今年度設置する市環境
委員会の中で、支援的措置
を含めて新エネルギー普及
の方策について研究してい
く考えでいる。

③ 整備の必要性は強く認
識しており、関係機関と負
担割合について協議を行っ
てきたが、多額な費用を要
することから、現在の市の
財政事情では、整備は困難
な状況である。

総務部長

① 平成9年策定の地域防
災計画を一部改定し基準を
満たすように考えている。

戸沢 弘征
議員

設置可能なすべてのバス停に屋根を

東京都に財政支援等を要望する

問「あるきたくなる街あきる野」として求められる課題は、トイレの設置とバスの運行がある。さらに突如の雨などでバスを待つ際、バス停に可能な限り屋根を設置すると、観光客は助か

ります。同時に通勤・通学者にとってもありがたいものです。バス停を点検し、設置可能なすべての停留所に、屋根を計画的に設置すべきと考えるが、市の見解を伺いたい。

総務部長

市内には路線バスの停留所が140か所あり、その内「るのバス」の停留所は45か所ほとんどが、幅員の広くない市道に設置されている。屋根の設置された経緯としては、福祉の街づくりや商業振興策の一環として設置されているが、設置時期は東京都の道路整備事業に合わせて整備されている。また、バス停の屋根については、本来バスを利用するお客様のためにあるものであり、今後、バス会社にサービスの一環として設置の要望を行うとともに、東京都に対しても財政支援等について要望していく考えでいる。



バス停

他に、中学3年生まで医療費無料化を実現するよう求め、定率減税廃止で値上げされる保育料を引き下げよう、子育て支援策として要求し質問した。

児童・生徒への教育的支援対策は

特別支援指導補助員により指導を実施

村木 英幸
議員



あきる野市特別支援教育検討委員会

問 特別支援教育について、当市では、平成16年、17年、18年と特別支援教育、副籍交流地域の指定を受け、取り組みを行ってきた。そこで以下質問する。

① 今日まで、それぞれの小中学校での指導により、心身障害児童・生徒の好転・改善は認められているのか。

② 新入学児童の就学支援

シートの活用は。

③ 教育的支援を必要とする児童・生徒への対策は。

④ 副籍交流の成果と課題は。

⑤ あきる野学園養護学校、西多摩療育支援センター、立川ろう学校、心身障害学級のネットワークづくりについて、東京都の考えは。

指導担当参事

① 固定の特別支援学級では、障害が解消されることはないが、理解度や社会性などに向上・改善が見られる。通級の特別支援では、改善が図られ、通級の特別支援学級を退級する児童・生徒もいる。

② 入学児童の学校見学・体験、学級編制などに活用を行っている。

③ 保護者の了承を得て個別の指導計画を作成し、特別支援指導補助員の派遣を行い、指導を実施している。

④ 平成16年度に18名でスタートしたが、19年度には44名の副籍事業への参加となっている。課題としては、個々の副籍交流の内容に大きな違いが見られることである。

⑤ 東京都としては、特別支援教育を推進するためには、エリアネットワークが大切である。という考えを示している。

他に、環境教育について質問した。

田中 千代子
議員

ブックスタート運動の取り組みは

絵本等の読み聞かせは行っているが贈呈は検討課題とする

- 問 子育て支援についての妊産婦健診の公的助成の拡充について
- ① 妊産婦健診は、母子の健康維持に不可欠であるが、健康保険の適用外のため、経済的負担が大きい。安心して出産に臨めるよう公費負担の拡充が必要である。市の考えは。
- ② ブックスタート運動の



赤ちゃんに読み聞かせ

取り組みについて
赤ちゃんの健診時に絵本を贈る運動が、全国の自治体に広がっている。全ての親子に本と出会う機会を提供でき、親子の絆を深めることは、子育て支援として重要である。市の考えは。

福祉部長
① 現在、健康課では、妊産婦健診を2回、契約医療機関で実施している。公費負担で5回程度実施することが原則であると考えられているが、現段階では、妊産婦健診の回数を5回にする市町村はない。現在、公費負担への財政支援を市長

会を通じて東京都へ働きかけている。

② 子育て支援・児童担当参事市としては、図書館で乳幼児にお勧めのリストを配布したり、親子のふれあい言葉の発達を促すきっかけとして、わらべ歌や絵本の読み聞かせなどを行っている。保育園や児童館、幼児クラブでも絵本の読み聞かせを行っている。絵本を贈ることについては、検討課題としたい。

他に、福祉サービスの充実について質問した。

問 防災対策について
東京都の災害予防条例が昨年3月に一部改正され、住宅用火災警報器に関して、住宅の新築・改築に加えて既存住宅にも、平成22



秋川消防署秋留台出張所

年4月から火災警報器の設置が義務化される。そこで以下の点を伺う。

① 設置義務化の背景と市の取り組みは。

② 市営住宅への設置計画

他に、協働のまちづくりについて質問した。

③ 東京都では、助成の考えは今のところない。また、市としても、厳しい財政状況であることから支援の考えはない。

松原

敏雄
議員

火災警報器の設置義務化の取り組みは

消防署と連携をとり周知に努める

は。

③ 既存住宅への設置に関して、経費の一部を補助する等の支援的措置は。

総務部長

① 東京都では、火災にいち早く気づくことが、被害を最小限に抑える有効な防止対策であることから、設置を義務付けることとした。

また、市の取り組みとしては、消防署と連携をとりながら、引き続き広報紙等により、住宅用火災警報器の設置について、周知に努める。

都市整備部長

② 現在、120戸が対象となっており、平成21年度中には設置を予定している。

総務部長

③ 東京都では、助成の考えは今のところない。また、市としても、厳しい財政状況であることから支援の考えはない。

御手洗 武
議員

当市の実質公債費比率は

比率は12.5%・東京都26市で中間に位置する



庁舎5階の財政課

問 あきる野市の財政状況について
5月24日の読売新聞の多摩版に地方債発行「問題なし」の見出しで、(財)東京市町村自治調査会の発表が載っていた。今回は実質公債費比率の指標が取り入れられたのが特徴とあるが、あきる野市の公債費比率、財政力指数、経常収支比率

人件費比率等について伺う。
企画財政部長
これまでの起債制限比率について、市場の信頼性、公平性の確保、透明化、明確化の観点から一定の見直しを行い、一般会計の公債費のみの対象を、下水道などの特別会計や一部事務組合等の公債費に対する繰出金、負担金などを含めたも

のが実質公債費比率となる。この比率が原則25%を超えると、起債の制限が行われることになる。あきる野市は実質公債費比率が12.5%で26市中では中間に位置している。また、財政力指数は0.801、経常収支比率95.6%、実質収支比率32%、公債費比率12.2%、人件費比率18.7%となっている。

南雲 千ズ子
議員

たばこの吸い殻等のポイ捨てを規制すべきでは

まちをきれいにする観点から条例づくりを研究していく



空き缶・たばこの吸い殻

問 多くの自治体では、まちをきれいに美しくしようという運動を含め、たばこの吸い殻や空き缶のポイ捨て等の防止条例を制定している。当市では、四季を通じて美しいまちを保つためのルールづくりが必要では

ないかと考え、以下の条例制定を提案し、市の考えを問う。
① 美化推進地区を定め、特に駅周辺などを中心に、吸い殻のポイ捨てを規制すべきと考えるが。
② 空き缶及びペットボト

ルも同様に規制すべきと考えるが。
③ 公共場所、公園・道路における犬のふんに関する規制をすべきと考えるが。

環境経済部長

①②③ ポイ捨て防止条例の制定については、平成18年3月に制定した「あきる野市環境基本計画」においても、「美しく清潔なまちの形成」を柱の一つとして、たばこやごみのポイ捨て防止に向けた意識啓発やボランティア活動の推進を掲げている。また、その実現のための方策の一つとして、ポイ捨て防止条例を研究することとしている。

また、この条例の研究に際しては、まちをきれいにする観点から、ポイ捨て防止に限らず、美観地区の設定やペットのふんの処理、まちの美観を損ねる落書き対策等も含めていきたいと考えている。



影山 保
議員

学校の耐震化は待ったなし

1年でも早く耐震化に取り組む

問 最近の地震は予期しないところで多発している。児童・生徒が長時間滞在する学校の耐震化は待ったなしである。

① 合併して12年、耐震化されたのは4校のみだ。多くの市はこの間にほとんど

「逃げないで済むまちづくり」となっている。方針と現実とは思わないか。

市長

① 安全で安心して学び育つ環境を整備していくことは、大変重要であると認識しており、甘かったわけではなく、合併市町村まちづくり推進事業に専念したのが遅れた理由である。

② 予算を勘案しながら、一年でも早く耐震化を進める気持ちで取り組む。

学校教育部長

現在、教育委員会として学校耐震化計画の案を作成中である。

市長

③ 防災計画書の中で取り組んでいないところもあると思うが、市としても、教育長、教育委員会においても心がけており、ないがしろにしているわけではない。



耐震化が待たれる中学校校舎

議会本会議の様相を庁舎1階のテレビでご覧いただけます！

議場で行う議員からの一般質問や市側の答弁など、会議の様相を実況により、市役所1階ホールのテレビでご覧になれます。市役所に手続きなどで来庁の際、待ち時間等を利用して是非一度ご覧ください。

なお、次回の放映は、9月4日から6日までの一般質問、9月7日の議案審議及び26日の最終日を予定しています。

また、本会議のテレビ放映についてのご意見等をお寄せください。

